



# 静岡市 いきもの 散歩マップ

## 久能山東照宮コース

### しょくぶつ

#### ● ドクダミ



6～7月に、白色の花を咲かせます。全体的に独特においがあり、薬やお茶に使われます。日かげの湿ったところに生えています。

#### ● シヤガ



アヤメの仲間、山地の林のまわりや道ばたに生えています。4～5月に、白色に少し紫がかった花を咲かせます。

#### ● タチツボスミレ



よく見られるスミレの仲間、葉は丸みのあるハート型で、花はうすい青紫色です。

#### ● タマアジサイ



小さな木で、山地の谷すじや湿ったところに見られます。初夏～夏に花を咲かせます。

#### ● ホウチャクソウ



ユリの仲間、林の中に多くみられます。4～5月に、緑色をおびた白色の花をつけます。

#### ● ヒガンバナ



秋のお彼岸の頃に赤い花を咲かせます。花が枯れた後に出る細長い葉は冬の間だけ見られます。全体に毒があります。

#### ● アカメガシワ



春に出たばかりの芽があざやかな赤色で、葉がカシワのように大きいため、この名があります。

#### ● ヘクソカズラ



山野から人家付近まで見られるつる性の植物で、8～9月に、花びらが白色で、中心が赤紫色の花をつけます。

#### ● ササユリ



山地の原っぱや、陽当たりの良い林の中に生えています。5月に、うすい白桃色の花を咲かせます。

#### ● クサイチゴ



高さ20～60cmで、林のふちや草地に生える草状の落葉低木です。実は赤く熟すと食べられます。

#### ● ゴンズイ



秋に紅色の袋に包まれた黒い実をつけます。その実の形から「キツネの茶袋」とも呼ばれます。

#### ● テイカカズラ



つる植物で、はりつきながら、大きな木の先まで達します。5～6月に、白色の花を咲かせます。

#### ● ヤマユリ



山地にみられるユリの仲間、7～8月に、香りの強い大きな白い花を咲かせます。

#### ● スミレ



陽当たりの良いところに生えています。3～5月に、紫色の花を咲かせます。

#### ● マルバウツギ



初夏に小さな白い花をつける低木です。他のウツギの仲間よりも丸い葉を持つことからこの名がついています。

#### ● スイカズラ



つる植物で、5～6月に、甘い香りのする白色や黄色の花を咲かせます。インドウと呼ばれ、薬にも使われます。

### アクセス情報・拝観料



**【バスでのアクセス】**  
 1. しずかつバス清水駅前バスターミナル2番乗り場より「山原梅蔭寺線 [226] 駒越経由 久能山下行き」に乗車。  
 2. 「久能山下」にて下車。徒歩約5分で久能山東照宮入口。

**【拝観料・博物館入館料】**  
 社殿 大人500円 子供200円  
 博物館 大人400円 子供150円  
 共通 大人800円 子供300円

### 緊急連絡先

- 静岡県救急医療情報センター TEL&FAX: 0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
- 消防 119番
- 警察 110番

### 注意事項

- ハイキングでの安全は自己責任をお願いします。季節に合わせた服装・水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとっておきましょう。
- 里山には、ハチやヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹・花・山菜などを無断で取らないでください。
- 動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク  
 発行者：静岡市環境創造課  
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号  
 TEL: 054-221-1319 FAX: 054-221-1492  
 制作年：令和2年2月

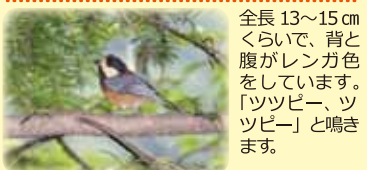
### とり・どうぶつ

#### ● アオバト



全長33cm程の黄緑色をしたハトの仲間です。「ア-オ、ア-オ」と物悲しい声で鳴きます。

#### ● ヤマガラ



全長13～15cmくらいで、背と腹がレンガ色をしています。「ツツビー、ツツビー」と鳴きます。

#### ● ジョウビタキ



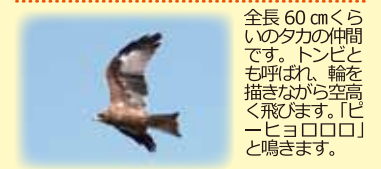
スズメより少し小さな鳥で、秋に日本にやってくる渡り鳥です。山地から住宅地で見られ、「ヒッヒッ」と鳴きます。

#### ● モリアオガエル



全長4～5cmで、暗褐色や緑色をしたカエルです。「コロコ、コロコ」と鳴き、水上の小枝に泡のような卵を産みつけます。

#### ● トビ



全長60cmくらいのタカの仲間です。トンビとも呼ばれ、輪を描きながら空高く飛びます。「ヒーヒーコロコ」と鳴きます。

#### ● シジュウカラ



全長15cmくらいで、背と頭のほかに胸のまん中も黒くなります。山地から里や人家まわりに1年中見られます。

#### ● オオルリ



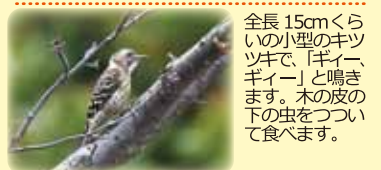
スズメより少し大きく、オスの背中には尾を含め光沢のある青色です。春に日本にやってくる渡り鳥です。

#### ● ヒガシニホントカゲ



山地から低地の陽当たりのよいところに生息し、小さな虫やクモなどを餌にします。幼体は青色、成体は褐色です。

#### ● コゲラ



全長15cmくらいの小型のキツツキで、「キーン、キーン」と鳴きます。木の皮の下の虫をついて食べます。

#### ● ヒヨドリ



全長28cmくらいで、全身が灰褐色で、長めの尾を持っています。低地から山地の林や、市街地でも1年中見られます。

#### ● カワラヒワ



全長15cmくらいの小鳥で、黄褐色で、太い嘴と翼に黄色が混じっています。雑木林や人家周辺に1年中見られます。

#### ● ニホンイタチ



全長40～55cmほどの中型の哺乳類です。主にネズミや昆虫を食べ、時には、水中に入って魚をとることもあります。

#### ● モズ



全長20cmくらいで、なつばりを持ち、「キィ、キィ、キリッ、キキ、キリリ」と高い声で鳴きます。

#### ● メジロ



全長12cmくらいで、からだの上面はやや暗めの黄緑色で、眼のまわりは白色、胸は黄色になります。

#### ● イソヒヨドリ



本来は海岸に住んでいましたが、最近では街中まで進出しています。虫を主食とし、オスは青色ですが、メスは地味な色をしています。

#### ● ハクビシン



近年数が増え、分布を広げている外来生物です。額から鼻にかけて白なので白鼻芯と言います。雑食性で木登りが上手です。

### むし

#### ● モンキアゲハ



後ろは丸に黄白色の斑紋がある大型のアゲハチョウの仲間です。幼虫はミカンやサンショウの葉を食べて育ちます。

#### ● アオスジアゲハ



林のまわりにはいますが、市街地でも見られます。活発に飛びまわって、花を訪れます。幼虫はクスノキの葉を食べます。

#### ● ウラナミシジミ



はねの裏に薄い褐色と白の縞模様があるシジミチョウの仲間です。幼虫はクスなどのマメ科植物を食べて育ちます。

#### ● アカボシゴマダラ



特定外来生物  
後ろは丸に赤い斑紋が並ぶタテハチョウの仲間です。近年、急速に分布を広げ、市内でもよく見かけるようになっています。

#### ● ハンミョウ



体長2cmほどで、青色の体に赤色や白色の斑点を持つ美しい昆虫です。成虫は4～10月に、見られます。

#### ● シズオカオサムシ



体長3cmほどの飛ばない甲虫で、つやのある紫色がかった赤茶色をしています。県東部から大井川より東にすんでいます。

#### ● クビボンゴムシ



体長2cmほどのゴムシの仲間です。日中、落葉や石の下などに隠れ、夜は地表を歩きます。

#### ● ベニカミキリ



体長2cmほどのカミキリムシの仲間です。クリやネギなどの花に集まります。幼虫はタケ類を食べる害虫です。

### メモ

## しずおか みんなの しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう

静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。  
 ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!!(ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)

